

2021年3月期 第2四半期

証券コード:9412

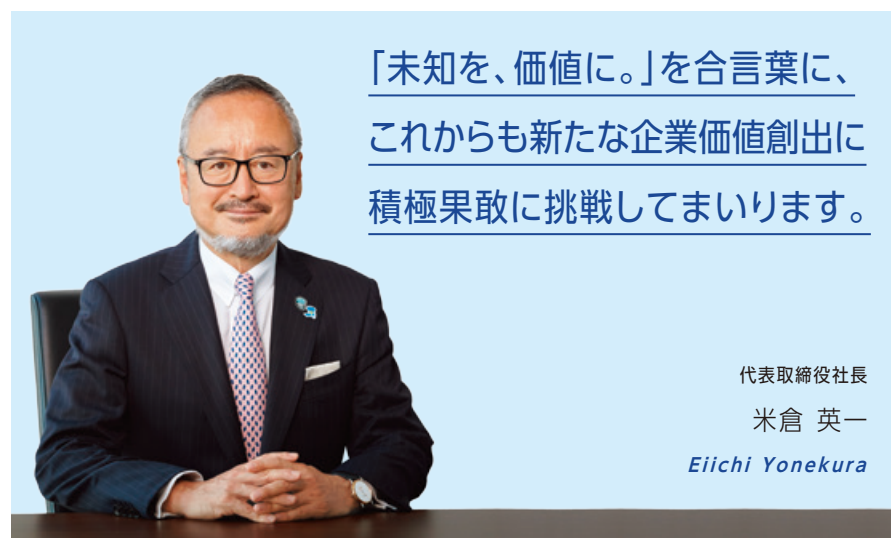
株主通信

株式会社スカパーJSATホールディングス

Space for your Smile



SKY Perfect JSAT
Holdings Inc.



株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の拡大により、世界中で大変深刻な状況が続いておりますが、医療関係者をはじめ、感染拡大の抑止に尽力されている全ての方々にこの場をお借りして心から深く感謝申し上げます。

2021年3月期(2020年度)

第2四半期決算の概要

当第2四半期は、宇宙事業においてハイスループット衛星(従来よりも伝送容量を

大幅に拡張した衛星)であるHorizons 3eの収益拡大や2020年4月にサービスを開始した通信衛星JCSAT-17が計画通り収益貢献を開始したこと、コロナ禍においてメディア・宇宙両事業とも営業費用が抑制されたこと等が寄与し、前年同期に比べ営業収益は増収、営業利益・親会社株主に帰属する四半期純利益はともに増益となりました。あわせて2020年度とその先を見据えた「プラン2020+」では、“REPOWERING, REBUILDING, REBRANDING”を3本の柱に、不退転の決意で経営改革を推し進めています。

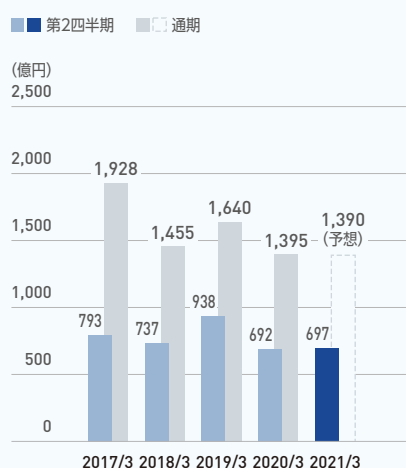
2021年3月期(2020年度)通期 連結業績予想を上方修正

当社は2020年度の業績見通しについて、当初は新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、メディア事業においては、プロ野球の開幕の遅れなどによる各種スポーツコンテンツ等の視聴料収入の減少が避けられず、宇宙事業においては、航空機や船舶等の移動体通信需要の減少が通期にわたって継続するとの想定を置いておりましたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響について精査を行い、2020年11月4日に2020年度通期連結業績予想を右の表の通り、営業収益1,390億円、営業利益160億円、親会社株主に帰属する当期純利益110億円に修正しました。

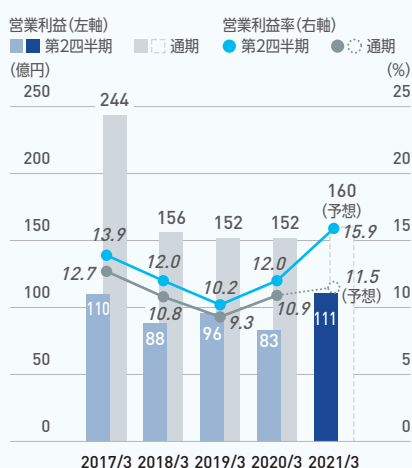
メディア事業においては、コロナ禍において従来計画していた大型イベントが中止されたこと等により、視聴料収入等が減少した一方で、各種費用も抑えられたこと、事業全体のコスト構造改革の効果が始めていること等から、セグメント利益予想を18億円から31億円に修正しました。

宇宙事業においては、航空機インターネット接続回線需要を中心に、当初は新型

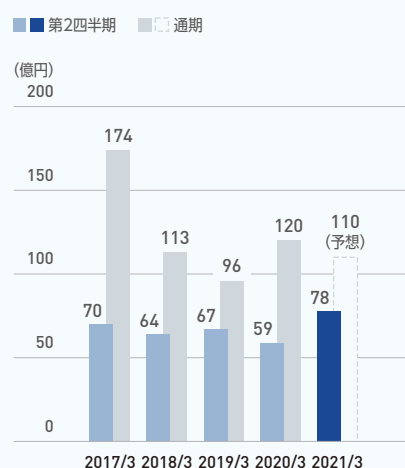
▶ 営業収益



▶ 営業利益／営業利益率



▶ 親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益



2020年度連結業績予想数値の修正(2020年4月1日~2021年3月31日)

	＜前回発表予想＞	＜今回修正予想＞	＜増減額＞
営業収益	1,400億円	1,390億円	△10億円
営業利益	120億円	160億円	40億円
親会社株主に帰属 する当期純利益	80億円	110億円	30億円



コロナウイルス感染症拡大の影響を厳しく想定しておりましたが、実情に合わせて精査を行うとともに、事業の運営コストの低減や一部の先行費用の発生が遅延すること等によるコスト減少が見込まれることから、セグメント利益予想を68億円から85億円に修正しました。

新ブランドスローガン

「未知を、価値に。」

テレビCM等で既にご覧になった方もいらっしゃるかと思いますが、当社は「プラン2020+」の柱の一つでもあるREBRANDINGの取り組みとして、2020年10月1日から、スカーパーJSATグループとして初となるブランドスローガン「未知を、価値に。」を掲げ、企業ブラ

ンディング活動を開始しました。

これは、民間企業として日本で初めて通信衛星を打ち上げ、通信・放送という公共性の高い分野で常に新しいビジネスを展開し、未知に挑戦し続けてきたパイオニアとしての原点に立ち戻り、革新的で、夢のある、スカーパーJSATグループならではの新たな企業価値を創り上げるという決意表明です。

これからのスカーパーJSATグループは、地上から宇宙空間までをビジネスフィールドとする企業として、コンテンツを届けるだけではなく生活を楽しむサービス、自然や社会の脅威から生活を守るサービス、将来的には、宇宙空間の生活インフラおよび企業・国家の活動を支えるサービスまでを創り出すことができると考えています。「未知を、価値に。」を合言葉に、スカーパー

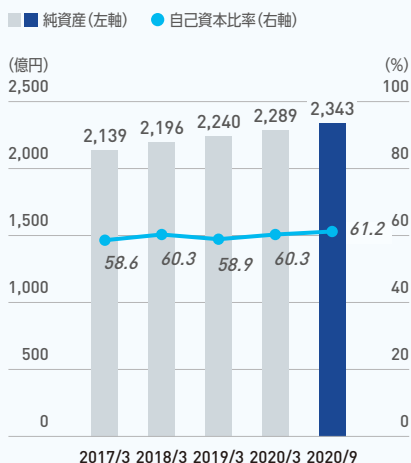
JSATグループだからこそできるサービスの創造に挑戦し続けていくとともに、広く社会から認知・共感いただけるよう、今後も企業ブランディング活動を展開していきます。

安定した財務基盤と株主還元を継続

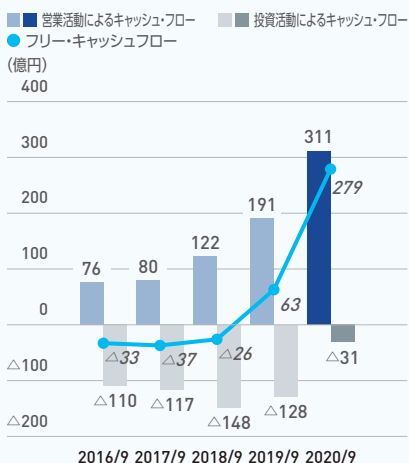
当第2四半期末時点においても、安定的な財務基盤の下、フリー・キャッシュフローはプラスの状態を堅持しており、2020年度の1株当たり年間配当額は18円、中間配当金は1株当たり9円とさせていただきます。

株主の皆様におかれましては、引き続きご支援賜りますようお願い申し上げます。

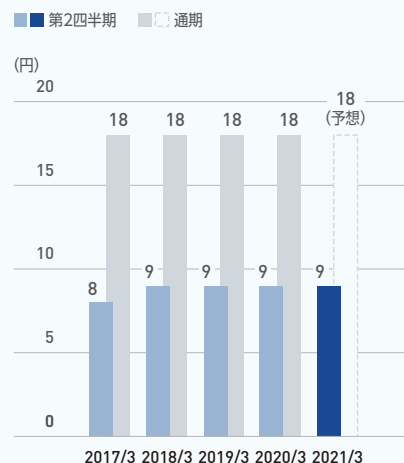
➤ 純資産／自己資本比率



➤ フリー・キャッシュフロー(第2四半期累計)



➤ 1株当たり配当金



メディア事業

MEDIA BUSINESS



2021年3月期第2四半期の取り組み

テレビ1台分の料金の3台まで追加料金なしで50チャンネルが見放題となる「スカパー! 基本プラン」は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴って在宅時間が増えている状況の中で展開した「スカパー! イエナカ応援キャンペーン」も奏功して契約件数は順調に増加し、2020年9月末時点で574千件（前年同月比132%）に達しました。家庭内の複数の部屋で視聴できる環境を増やすことで、お客様の満足度向上を図っております。

2020年シーズンのプロ野球は3ヶ月遅れて6月19日に開幕し、昨年に引き続き「プロ野球セット」でセ・パ12球団の公式戦全試合を生放送・配信しております。海外サッカー「ドイツ ブンデスリーガ」は、20/21シーズンから5シーズンにわたる独占放送権・配信権を獲得しました。日本国内における共同マーケティング活動を含むパートナーシップ契約により、従来の放送・配信にとどまらず、クラブを招聘したプレシーズンマッチ開催や各種イベントの実施などで日本のファンを増やすための様々な施策を進めてまいります。

TOPIC 光回線（FTTH）を経由した テレビ再送信サービスエリアの拡大

スカパーJSAT株式会社は、各ご家庭のテレビに衛星放送だけでなく、光回線（FTTH）を経由したテレビ再送信サービスも提供しており、アンテナ設置不要で地上波・BS、スカパー!ならびに新4K8K衛星放送をお楽しみいただけます。

このサービスをさらに拡大するため、このたび株式会社東北ケーブルテレビネットワーク、スカパーJSAT株式会社ならびに東日本電信電話株式会社は、東北エリアでのさらなる提供エリア拡大やサービスの充実を見据え、ケーブルテレビ事業者とスカパーJSAT株式会社が放送設備等を共用する初の協業事業モデルを実現いたしました。

設備・リソースの共有による事業の効率化により、今後も提供エリアの拡大を加速させるとともに、光再送信サービスの接続世帯数（2020年10月末現在で239万世帯）の増加、光回線経由のスカパー! 加入者拡大を図ります。

宇宙事業

SPACE BUSINESS



2021年3月期第2四半期の取り組み

2020年2月にJCSAT-17（軌道位置:東経136度）の打ち上げを実施し、2020年4月に移動体通信の既存顧客に向けて長期利用契約のもとサービス提供を開始しております。

また、グローバル・モバイルビジネスの拡大および競争力の強化のため打ち上げたハイスループット衛星（従来よりも伝送容量を大幅に拡張した衛星。以下HTS）のHorizons 3eは、着実に収益を拡大しております。今後、同じくHTSであるJCSAT-1Cとあわせて、増大する通信需要に対応してまいります。

新たな技術の活用や事業領域拡大への取り組みにおいては、Planet Labs Inc.の保有する多数の超小型地球観測衛星群により高頻度で撮影された衛星画像販売サービスに関し、政府系機関や民間の農業・災害対策・遠隔監視等の分野で順調に契約を獲得しております。ビジネスインテリジェンス分野に関しては、衛星から取得した画像や位置情報などの様々な地理空間情報と、各分野にカスタマイズしたAI分析を組み合わせた情報サービス「Spatio-i（スペイシオ-アイ）」の提供を開始しております。

TOPIC 衛星×地図データ活用し水害等を予測・減災 国内初の『衛星防災情報サービス』提供に 向けて業務提携

スカパーJSAT株式会社、株式会社ゼンリン、日本工営株式会社は、各社が保有する衛星データや地図データ、氾濫予測情報などを組み合わせ、近年多発する水害や土砂災害、地震、火山などにより発生する災害リスクの予測や減災、被災後の早期復旧にも活用することができる国内初*の『衛星防災情報サービス』の開発・提供に向け業務提携いたしました。本サービスは2021年の提供開始を目標としています。

衛星事業・地図情報・建設コンサルタント分野のそれぞれ国内最大手である3社がタッグを組み開発する『衛星防災情報サービス』は、平時には衛星データを活用して土砂斜面や河川堤防、道路などの社会インフラを広域にモニタリングします。災害リスクを可視化することで防災につなげていき、さらに災害発生時には衛星データの活用により広域かつ迅速に被害状況を把握し、救難・復旧活動の支援や2次災害の防止につなげ、企業や自治体の事業継続計画

協業により、提供エリアの全国展開を加速



3社協業記者会見(2020年10月22日)

東北エリアでの協業モデルの提供開始

協業概要

- 提供拡大エリア : 東北エリア 宮城県・山形県・岩手県
(2020年11月以降順次展開)
- 提供可能世帯数 : 100万世帯
- 提携CATV局 : 宮城ケーブルテレビ(宮城)
ニューデジタルケーブル(岩手)
岩手ケーブルテレビジョン(岩手)
ダイバーシティメディア(山形)
- 事業モデル : ヘッドエンド設備と光回線をCATV局と
当社で共用し、各々がサービスを提供

世帯カバー率

約 **60%**

提供可能世帯数 : 31都道府県 3,200万世帯に拡大

視聴可能チャンネル : 地上波・BS、スカパー!、NHKのBS8Kチャンネルを
含む新4K8K衛星放送の全チャンネル

■ サービス提供中のエリア



【平時(インフラモニタリング)】

インフラモニタリングを行うことで、減災・防災につなげる。

【災害発生時(被害状況把握)】

被害状況を把握。救難・復旧活動の支援や2次災害の防止につなげる。



水害等を予測・減災する「衛星防災情報サービス」イメージ

(BCP)に役立つサービスとして提供していきます。

また、本サービスは国内のみならずアジアをはじめとした海外での展開も予定しています。災害が多い日本だからこそ、防災領域を成長させていく責務があると考え、本サービスで国連の定めるSDGs(持続可能な開発目標)の達成に向けてグローバルに貢献していきます。

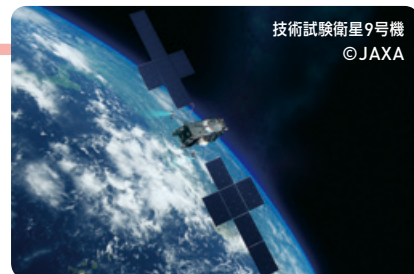
※3社調べ

TOPIC 技術試験衛星9号機に関する 協定書の締結について

スカパーJSAT株式会社は、国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構(以下JAXA)と、技術試験衛星9号機(ETS-9)に関する協定書を締結しました。ETS-9は、通信コストを削減するための最先端技術を各種搭載し、その実証に向けて2022年にJAXAが静止軌道に打ち上げを予定している技術試験衛星です。

相乗りパイロードとしてスカパーJSAT株式会社が搭載する光学望遠鏡は、近年需要の高まっているスペースデブリ対策を目的としています。今後は日本政府との連携の下、静止軌道上のスペースデブリを撮像し、宇宙環境を把握することで、スペースデブリと人工衛星の衝突を回避し、宇宙の安全に寄与することを目指します。

今後もスカパーJSAT株式会社は、宇宙・衛星事業の知見と創意を活用し、日本政府が掲げる宇宙基本計画および基本計画工程表の実現への協力、宇宙利用の拡大や宇宙産業の発展に尽力してまいります。

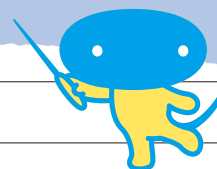


【受注範囲①:ETS-9パスの運用】

スカパーJSAT横浜衛星管制センターからETS-9の運用を開始

【受注範囲②: 相乗りパイロードの追加搭載】

スカパーJSATの光学望遠鏡を搭載し、静止軌道の状況を撮影



ウィズコロナ時代 における 当社グループの 取り組み

当社グループを取り巻く事業環境は
大きなターニングポイントを迎え、
ウィズコロナへの対応、
そして、アフターコロナに向けた変革が
求められています。

ここでは、当第2四半期における
当社グループの取り組みを紹介いたします。



スカパー! カスタマーセンターで
在宅運用を開始
クラウド型コールセンターを活用し、
アウトソーサー環境で個人情報の取り扱い
可能なセキュアな在宅コールセンターを実現

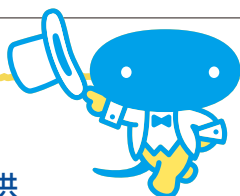
当社連結子会社である株式会社スカパー・カスタマーリレーションズ(以下、SPCC)は、「スカパー!」の顧客サポート業務において、ニューノーマルにおけるコールセンターの「新しい働き方」実現による生産性と従業員満足度の向上を目的に、株式会社ベルシステム24のクラウド型コールセンターシステム「BellCloud®」および、アマゾン ウェブ サービスのクラウドテクノロジーを活用した、在宅勤務オペレーターによるコールセンターの運用を開始しました。

従来、コールセンターの在宅勤務は機密情報の取り扱いなどが障壁となっていました。本システムの在宅環境においては、毎年400万件以上の電話・チャット・LINEなどにてカスタマーサービスを行うSPCCの個人情報保護基準を十分に満たすように設計されており、強固なセキュリティを確保した運用が可能となっています。SPCCは自社コールセンターでの在宅勤務を2020年10月より開始し、並行して業務委託先が運用するコールセンターでの在宅勤務も順次拡大します。今後2022年3月末までに全センターの4割(約200席)の在宅化を目指すなど、さらなる拡大の可能性を検討していきます。これにより、多様で柔軟な働き方による生産性の向上とともに、従業員満足度の向上を実現させます。



拠点型センターにおけるオペレーター管理の様子

「スカパー!オンデマンド エンタメ応援プラン」を提供

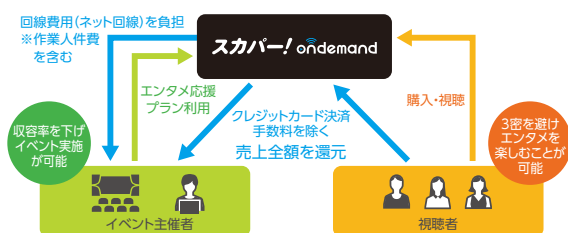


ウィズコロナの新しい生活様式が広まりつつある今、エンタメ業界を支援する新たなサービス「スカパー!オンデマンド エンタメ応援プラン」を期間限定(2020年12月31日受付分まで)で提供しています。コロナ禍により、各種イベントがこれまでのような収容率で実施できない状況が続く中、より多くの方にイベントを楽しんでいただけるよう、ステージイベント主催者(音楽・演劇・伝統芸能などのコンテンツ)を対象とした特別配信プランとしてご用意。当プランのご利用により、主催者は配信にかかる費用を負担せずにイベントを開催することができ、同時にファンの視聴機会を保つことも可能となります。

各種オプションも設けており、スカパー!の放送拠点であるスカパー東京メディアセンターをご利用いただく場合にはイベント開催自体をサポートいたします。また、スカパーJSAT株式会社保有の通信衛星を使ったIP映像伝送サービス「Sat-Q(サットキュー)」をご利用いただくオプションでは、より安定した回線での配信の提供が可能です。

ウィズコロナ時代において、生活者のエンタメ消費行動は変わりつつあります。ステージイベント主催者は、観客の安全を考えながら臨機応変に開催する必要がありますが、当プランを活用いただくことで、費用負担を抑えつつ新たな活動領域を広げることも可能となります。

「スカパー! オンデマンド エンタメ応援プラン」概要図



取材現場をより便利に!

超小型軽量アンテナSatcubeを用いたIP映像伝送サービス「Sat-Q」(サットキュー)のサービスはこちらからご覧いただけます。



クラシック音楽専門動画配信サービスに特化した新会社を設立

スカパーJSAT株式会社が出資するファンド会社が設立した新会社「トゥッティ・ミュージック・エンターテインメント株式会社」(以下、Tutti*)は、国内外から調達したクラシックコンサートに加え、プロ・アマ含めた国内の吹奏楽演奏会や、楽器の演奏方法のチュートリアル映像などの豊富な「クラシック専門」コンテンツラインナップを提供。また、新たに国内の学生向け演奏イベントを主催、番組制作も手掛けることで、配信サービスにとどまらない、クラシック音楽業界の活性化に向けた取り組みも図っていきます。

※「トゥッティ」とは、吹奏楽などの音楽用語で、全奏者による「合奏」の意味です。この事業を通じて音楽を愛するすべての人に楽しみ、喜んでいただきたいという思いが込められています。

Tuttiイベント第一弾!

「がんばろう日本☆つながる青春プロジェクト」

今秋、コロナ禍において全国大会等が中止となった中高生を応援する企画として、2つの学生向け演奏会を主催。当日は50校以上が参加し、安全に配慮しながらも、全国大会と同規模の演奏会となりました。

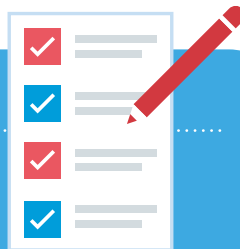
大会の様子は後日ご家族、友人のみならず、一般の方々にもご視聴いただけます。

今後は、このノウハウを活用し、学生の定期演奏会等の中継制作にも積極的に取り組み、コロナ禍における音楽イベント開催の選択肢として、当サービスをご活用いただけるよう展開していく予定です。



第14回 株主様アンケートご協力のお願い

当社は、毎年株主様アンケートを実施させていただいております。ぜひ、皆様の株式投資に関するお考えや当社グループへのご意見をお寄せください。今後の経営およびIR活動の参考とさせていただきます。同封のはがきまたはインターネットのいずれかの手順にて、**2021年1月6日(水)**までにご回答をお願いいたします。



■ はがき

同封のはがきにご記入いただき、郵便ポストに投函してください。

■ インターネット

インターネットで当社ホームページにアクセスし、株主様アンケートのバナーをクリックしてください。アンケートサイトに移動しましたら、下記株主様専用のログインIDをご入力いただき、回答をお願いいたします。



URL <https://www.skyperfectjsat.space>

カレンダープレゼント

アンケートにご回答いただいた方の中から、**抽選で200名様**にスカパーJSATの2021年卓上カレンダーをプレゼントいたします。抽選に応募される方は、**2020年12月14日(月)まで**にご回答ください。**(はがきの場合は14日必着)**なお、発表は発送をもって代えさせていただきます。カレンダーの送付先は、株主名簿にご登録の住所となります。



会社概要 (2020年9月30日現在)

会社名	株式会社スカパーJSATホールディングス (SKY Perfect JSAT Holdings Inc.)
設立	2007年4月2日
資本金	10,033百万円
従業員数	884名(連結)(2020年3月31日現在)
所在地	〒107-0052 東京都港区赤坂1-8-1
電話番号	03-5571-1500(代表)

取締役・監査役

代表取締役会長	高田 真治	取締役(非常勤)	中谷 巖
代表取締役社長	米倉 英一		飯島 一暢
取締役	仁藤 雅夫		小杉 善信
	福岡 徹		藤原 洋
	大松澤 清博		大賀 公子
	小川 正人	監査役	西村 至
			小川 晃
		監査役(非常勤)	高橋 勉
			大友 淳

株主メモ

決算期日	毎年3月31日
定時株主総会	毎年6月
上記基準日	毎年3月31日
配当の基準日	期末配当3月31日 中間配当9月30日
取引市場	東京証券取引所 市場第1部
証券コード	9412
株主名簿管理人	みずほ信託銀行株式会社 東京都中央区八重洲一丁目2番1号

お問合せ先

お取扱窓口	証券会社に口座をお持ちの場合、各お取引の証券会社等へお問合せ下さい。証券会社等に口座をお持ちでない場合(特別口座の場合)、下記「お取扱店」にてお取次いたします。
お問合せ先	〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行 証券代行部 フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く9:00~17:00)
お取扱店	みずほ証券 本店および全国各支店/ プラネットブース(みずほ銀行内の店舗) みずほ信託銀行 本店および全国各支店 ※トラストラウンジでは、お取扱できませんのでご了承ください。
未払配当金のお支払	みずほ信託銀行 本店および全国各支店 みずほ銀行 本店および全国各支店 (みずほ証券では取次ぎのみとなります)

※支払明細の発行については、上記の「お問合せ先」または「お取扱店」をご利用ください。

免責事項

本株主通信に掲載されている予想、戦略、経営方針、目標等のうち、歴史的事実でないものは、将来の見通しに関する記述であり、これらは、現在入手可能な情報にもとづく経営者の前提、計画、期待、判断などを基礎としています。これらの将来の見通しに関する記述は、様々なリスクや不確定要因の影響を受けるため、現実の結果が想定から著しく異なる可能性があります。

